

ネパールにおける基礎から高度な新生児蘇生法を対象とした、「シミュレーション基盤型トレーニング」に基づく実践的研修プログラムの協創プロジェクト 3年計画の2年目

1. 日本の新生児蘇生法講習を担う新生児蘇生法委員会が構築してきた標準化された研修体制を模範とし、ネパールにおいて基礎から高度な新生児蘇生法までを対象とする、シミュレーション基盤型の実践的研修プログラムの体制を整備する。
2. 日本のNCPR委員会所属専門家および弊団体が、ネパール小児科学会（NEPAS）と協業し、前項記載の制度・技術・知見をベースに、ネパールの医療現場に適合した研修体制を開発する。マスタートレーナーおよびトレーナーの養成を通じて、ネパール全国における持続可能な新生児蘇生法研修体制の構築を目指す。
3. NNCPR研修をネパール全土に展開し、各地方での研修の実施、マスタートレーナーによるトレーナー養成、遠隔評価・指導体制の導入を通じて、全州で均質な研修が継続的に行われる体制を構築する。研修対象は医師に限らず周産期医療に関わる医療従事者へ、対象施設も三次医療機関から二次医療機関へ段階的に拡大する。受講者・トレーナーの登録管理、教材・物品の安定調達、将来的な受講料徴収の仕組みも整備し、NHTC等政府機関による自走的運営、国家ガイドライン化、公的研修体系への組み込みを目指す。

